

# 只今酒飲み運転追放

## 強調月間です!!

毎年十二月から一月にかけて車と人の動きが一段とあわただしくなり、他の月と比べて交通事故の最も多い時期です。このため警察では十二月十日から一月十日まで、酒飲み運転追放強調月間とし県下一斉に取しまりを行っております。

酒飲み運転による事故は死亡率も高く極めて危険です。酒を飲んだらハンドルを

持たない……良識  
ハンドルを持つときは  
酒を飲まない……勇氣  
ハンドルを持つ人に  
酒をすすめない……親切

酒をすすめる人は勿論、周囲の方々がたも協力したいものです。事故はちよつとした油断、心得ちがいから大切な命

を失い、一家をどん底におとし入れてしまいます。

昨年十月一日に公布された交通違反点数制度でも、酒酔運転を悪質な違反として最も重く取上げ最高の九点をつけています。この点数は「免許の停止」の点数六点を上廻り、二回くり返すと「免許の取消」の点数十五点以上になります。

罰則も当然考えなければなりません。その前に交通事故の絶滅は国民全体の悲願であるということ深く、強く考えましよう。

### 県警察官を募集

県警察署では四月採用の男子警察官百名を募集していますが、募集要項は次のとおりです。

受験資格は昭和十七年四月二日から二十六年四月一日までに生れた者で、学歴の如何を問わず高等学校卒業程度以上の学力があり、身長一六〇センチ以上、体重、視力とも普通の者となっています。

受験の申込みは県警本部各警察署で、二月十八日まで受け付けます。

採用試験は県警察学校で、一月二十二・二十三日と、二月十九・二十日に行われま

す。採用時の給与は、大学卒二万九千三百円、短大卒二万六千六百円、高、中卒二万四千六百円のほか手当や期末手当が支給されます。

詳しいことは成東警察署かもより派出所にお問い合わせください。

名を募集しています。願書受付 昭和四十四年二月十五日まで

試験日 昭和四十四年二月二十三日(日)午前八時半

試験地 館山校、東京都、水戸市、高崎市、宇都宮市、

入学期日 昭和四十四年四月十日(木)

受験資格 年令十五才以上十九才未満、中学校卒業以上の学歴を持ち、所定の体格検査に合格するもの

出願書類 ①入学願書②履歴書③身元明細書④身体検査証⑤出身学校長の報告書⑥戸籍謄本⑦写真(半身、正面、名刺型)

試験科目 中卒程度の国語、数学及び英語の筆記試験

学資等 授業料、寮費不要、入学時に教科書、制服、作業服、四月分食費などとして約二万円を要する。奨学金希望者には月三千元が貸与される。

以上のほか詳しいことは館山海員学校が役場企画課にお問い合わせ下さい。

### 一月のこよみ

1日	若水、初詣
2日	初荷、初夢
4日	官公署御用始
5日	小寒、寒の入
7日	七日正月、七草
8日	学校始業
10日	十日えびす、初金比羅
11日	鏡開き
15日	成人の日、小正月
16日	やぶ入
18日	初観音
20日	初大師
21日	初天神
25日	初不動
28日	初不動

## カゼは万病のもと こじらせると怖い

今年はや暖冬だといわれていますが、五日が寒の入り、二十日が大寒で、寒さはこれからです。そしてカゼひきが多くなり、万病のもとといえます。カゼは余病の中で一番多い病気で、熱がでて咳がはげしくなり、濃い痰が出はじめます。子供に特に多い病気で、子供にカゼをつけること、肺炎もしばしば起るもので、これは重症の部類です。心臓弁膜症や慢性気管支炎の人、呼吸器の弱い人は肺炎を起しやすいのです。

中耳炎、のどに付いた細菌が中耳管に入って中耳炎を起します。強く鼻をかんだりするとよく中耳炎になります。鼻は静かに片方ずつかむ腎臓炎、微熱がなかなか下らず、顔がむくんできた場合は腎臓炎になっておそれる病気が多分にあります。この病気が尿にタンパクが出るので、医者に診てもらおうとすぐ判ります。早目に治療を受けましょう。

結核にかかっている人がカゼをひくと回復期であっても重症になる例があります。また妊娠中の女性は身体は抵抗力が少いため、カゼから肺炎というケースが非常に多いようです。カゼがもとで流産、早産もあります。

下痢、子供がカゼをひくとよく下痢をします。これはのどに入った細菌が腸に入るからです。早目に手当をする必

### 横芝俳壇

於幾老人クラブ

咳おそれこらいて老の障子帖



つる草の紅葉日増しに人目ひ

死にぎわの虫をかくせり草紅葉

夕空の渡り鳥孫と語りけり

障子帖の手かけに紅葉入れて見し

畦道の草紅葉をば踏み惜しみ

電線に別れを惜しむ乙鳥かな

静かなる夕焼け空や渡り鳥

水澄むや前や後に草紅葉

庭の花には脊を向け乍ら障子帖

障子帖り我が家の化粧これで

なり

日が昇り顔に映えくる草紅葉

障子帖り青い暈が恋しくも

渡り鳥何時来たのやら坂田池

夜までも巧みな母の障子帖る  
題出され七〇才で知る草紅葉  
草紅葉風吹けば葉裏色変り  
急ぎ足もふと立ちとまる草紅葉

喜 昌

文 雄

新客の知らせいそいそ障子帖

切り貼りをしてすき間風ふせ

八十老